

日 時	2023年5月12日(金) 9時45分	
集合場所	東武野田線江戸川台西口駅前広場	役員が旗を持ち誘導します。
	3・4番線(船橋～柏) ↔ 1・2番線(柏～大宮)	
	乗換は先頭車両が便利(ホームが繋がっており階段昇降せずに行けます。)	

(コース)
 江戸川台西口駅前広場 < 60分 > 東武線地下道通過 → 商店街通り → 柏の葉公園北入口(トイレ休憩10分) >
 < 桜の広場 A (昼食・休憩 60分) → 柏の葉高前 → 筑波エクスプレス線横 > →
 → 流山おおたかの森駅前流れ解散 14時前頃到着

千葉県立柏の葉公園

歴史

元々同地は旧帝国陸軍東部第105部隊が使用していた軍用地であり、日本初のロケット戦闘機秋水も駐留していた柏飛行場で跡地である。戦後アメリカ軍・柏通信所に接收され、1981年(昭和56年)に府と県、市との間によって締結された跡地利用に関する覚書に沿って、日本国が所有する分を東京大学の柏キャンパス、千葉大学園芸学部附属柏農場(現環境健康フィールド科学センター)として、県と市の所有分を広域公園として整備することを計画したものである。

「柏の葉」名称の由来

柏の木が厳しい冬を越えて新芽が出るまでの間、前の葉が落ちずにい続けることに因(ちな)み、1985年(昭和60年)時に柏市立田中小学校の教頭であった人物によって命名された。

柏市の西にあって流山市とせっしている。公園入口にはH14年に行われたワールドカップのサッカー場もある。郷土の森、日本庭園、バラ園、イタリア庭園、四季の広場、桜の広場、公園センター緑の相談所、野鳥観察所、体育館、テニスコート、ボート池、野外ステージ、レストハウスなどの諸施設が揃っている。

周辺にはさわやかちば県民プラザ、東大柏キャンパス、千葉大園芸学部、国立癌センター、税関研修所などがある。江戸川台駅からの柏の葉に通ずる車道・歩道は整備されており、沿道には郊外レストランが多い。



★誘導者の指示を順守

下見 2023.3.30(木) ☀ 四宮・井上・岡澤
 誘導 : 1班(四宮・田中) 2班(井上・吉田) 3班(岡澤・滝沢)
 新人指導 : (柳川)

船橋市いきいき同窓会「歩こう会」

注1) 公園までトイレがありません。駅で済ませて下さい。(次の休憩まで60分)

注2) 昼食後、必ずトイレを済ませて、指定の場所・時間に集合して下さい。(ゴールまで80分)